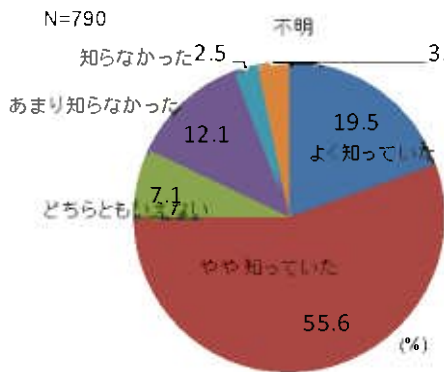


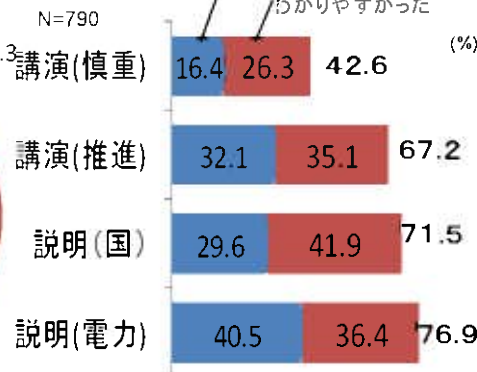
基調講演会・対話フォーラム アンケート調査結果

参加前の「フルサーマル」の認知状況

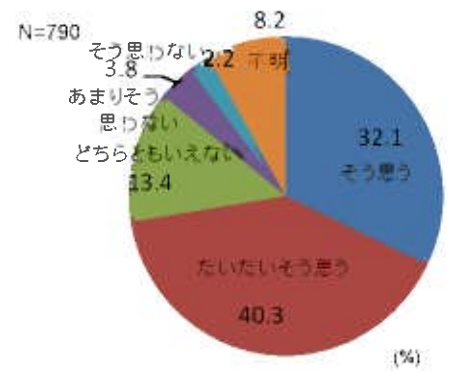
■基調講演会



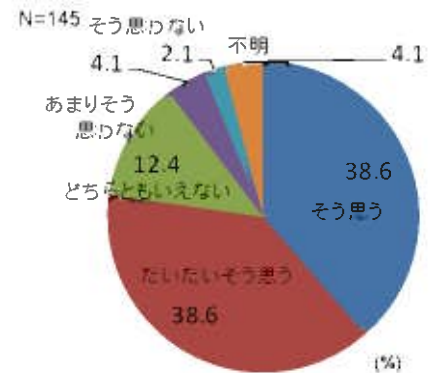
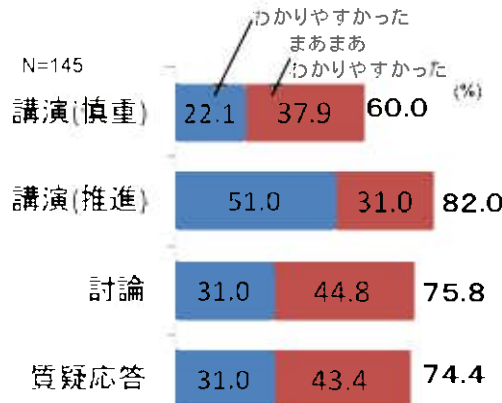
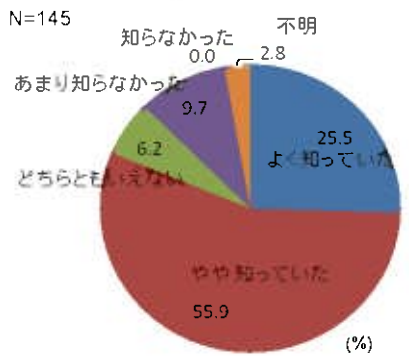
説明・講演・フォーラムの内容理解度



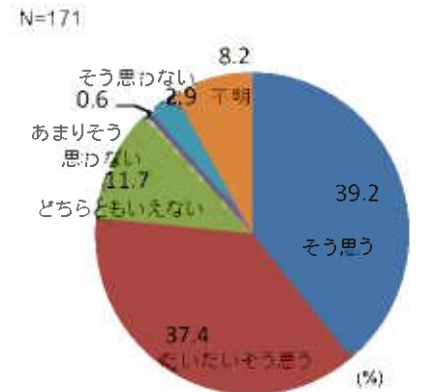
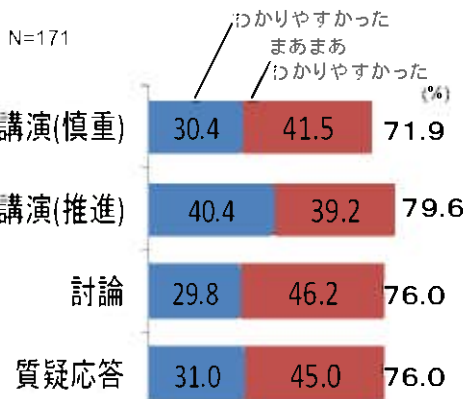
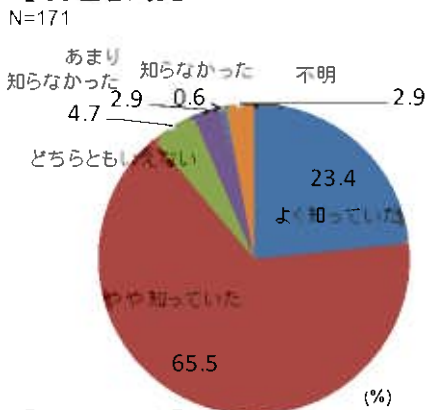
参加後の「フルサーマル」の内容理解度 理解が深まった



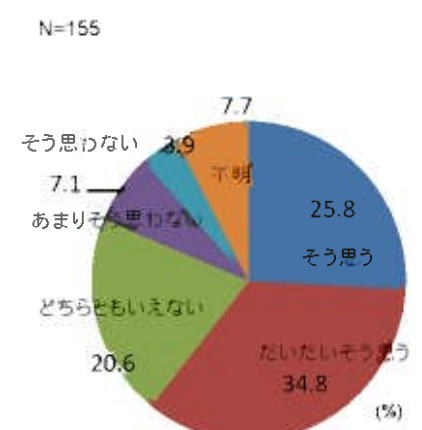
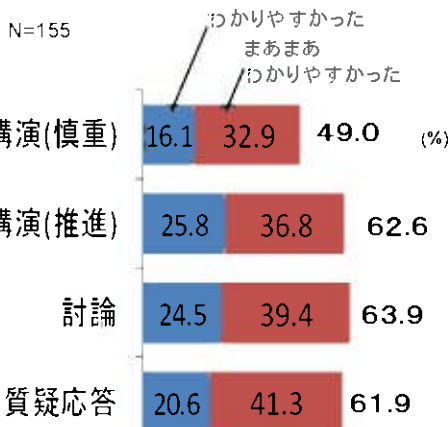
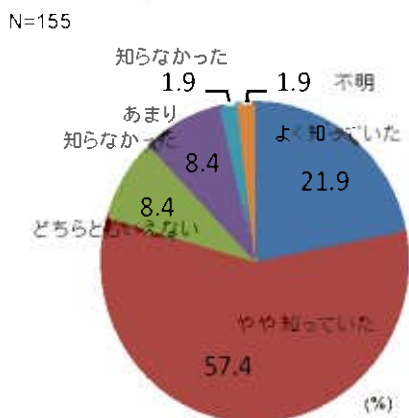
■対話フォーラム 【万石浦会場】



【石巻会場】



【女川会場】



基調講演会・対話フォーラムに係るアンケート調査

1 調査対象、調査票本数

イベント区分	会場区分	会場名（配付場所）	実施月日	来場者(調査対象)	有効回収数	回収率
基調講演会	社慶会場	石巻市社慶体育館	9月5日(土)	410	202	0.493
	女川会場	女川町生涯教育センター	9月5日(土)	380	163	0.429
対話フォーラム	万石浦会場	石巻市立万石浦中学校体育館	10月31日(土)	260	171	0.658
	石巻会場	石巻文化センター	11月11日(水)	310	145	0.468
	女川会場	女川町生涯教育センター	11月28日(土)	320	155	0.484

2 男女構成

イベント区分	会場区分	合計	男性	女性	不明
基調講演会	社慶会場	202	163	35	4
		100.0	80.7	17.3	2.0
	女川会場	163	124	37	2
		100.0	76.1	22.7	1.2
対話フォーラム	万石浦会場	145	115	29	1
		100.0	79.3	20.0	0.7
	石巻会場	171	150	21	
		100.0	87.7	12.3	
	女川会場	155	129	26	
		100.0	83.2	16.8	

3 年齢構成

		合計	～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明
基調講演会	社慶会場	202	17	18	39	67	37	19	5
		100.0	8.4	8.9	19.3	33.2	18.3	9.4	2.5
	女川会場	163	9	14	38	47	38	15	2
		100.0	5.5	8.6	23.3	28.8	23.3	9.2	1.2
対話フォーラム	万石浦会場	145	7	14	37	44	26	15	2
		100.0	4.8	9.7	25.5	30.3	17.9	10.3	1.4
	石巻会場	171	6	17	41	62	33	12	
		100.0	3.5	9.9	24.0	36.3	19.3	7.0	
	女川会場	155	5	13	48	49	26	14	
		100.0	3.2	8.4	31.0	31.6	16.8	9.0	

4 居住地

		合計	女川町	石巻市	県内	県外	不明
基調講演会	社慶会場	202	17	132	40	4	9
		100.0	8.4	65.3	19.8	2.0	4.5
	女川会場	163	113	31	9	6	4
		100.0	69.3	19.0	5.5	3.7	2.5
対話フォーラム	万石浦会場	145	18	85	34	3	5
		100.0	12.4	58.6	23.4	2.1	3.4
	石巻会場	171	25	96	42	3	5
		100.0	14.6	56.1	24.6	1.8	2.9
	女川会場	155	98	18	32	5	2
		100.0	63.2	11.6	20.6	3.2	1.3

基調講演会「プルサーマルを考える」についてのアンケート (牡鹿会場) 1/2

- ・積極的に進めていくべきと考える
- ・早期に実現するように。
- ・安心、安全はものだという事をもっとアピールして理解していけばプルサーマルも必要だということが皆さん理解してくれると思います。
- ・プルサーマルは推進してもかまわないと感じた。ただ最終的に消費者への電気料の安価に供給頂きたい。
- ・燃料の違いが良く理解できた。また他の国での実績もあるという事で安心した。
- ・マスコミ(新聞、テレビ)で報道するような恐ろしいものではなく、何ら問題がない、安全なものだということがわかった。
- ・エネルギーは今後とも必要なもので、何のメリットもないのに MOX を導入するとか、一部の人が利益を得るために、こんなに働きかけてプルサーマルを作ろうとは考えられない。反対派の無責任な主張は納得できない。
- ・計画的に推進して下さい。
- ・原子力の必要性を十分認識していた。
- ・プルサーマル発電を早く活用してください。
- ・日本のエネルギー政策において、原子力の安全有効利用は必須のことであると考え。プルサーマル発電はプルトニウムの有効処理(危険核物質の処理をそのポテンシャルエネルギーを排出しながら行う)という点において、推進しなければいけないであろう。安全性に十分配慮してから是非着実に計画を進めて頂きたい。
- ・資源の確保・環境対策のためにも必要。またエネルギーの安定供給は我々の生活を向上させるために必要である。そのためにも安全性を確保しつつ進めてもらいたい。
- ・電気は生活に必要なもの。日本の資源問題を考えれば原子力政策も必要なものではないかと思えます。安全に留意して進めてもらうことを願うばかりです。先行する九州電力等の動きをみきわめながらより安全に計画が進むことを願うと同時に、電力事業者や国にはエネルギー問題の重大さを皆が関心をもって考えていける様、問題提起をしてほしいと思えます。微力でも自然エネルギーの普及も大切だと思います。
- ・資源のない日本にとってかかせないものと思う。
- ・プルサーマル計画は進めてはやく実施してほしいと思えます。エネルギー資源を有効に利用していくためには必要なことだと思います。
- ・恒久的なエネルギー問題として推進を要求します。
- ・小資源国・日本のプルサーマル計画は必要と再確認した。
- ①地球環境を考える場合、原子力発電の推進は必要。②資源の少ない我国ではもっと積極的に推進すべきと思う。③あわせて新エネルギーの導入計画を早めるべき!
- ・プルサーマルはプルトニウム利用の理想的姿ではないかも知れないが、廃棄されてしまう燃料の中に再利用できる資源(プルトニウム)を取り出して利用することは良いことであると感じた。
- ・日本のエネルギー資源状況を見た場合にはプルサーマル計画は是非必要である。
- ・エネルギーの有効利用や温暖化防止のため是非推進して原子力発電所は安全に運転してほしい。
- ・プルサーマルはリサイクルであり、資源のない我が国ではどうしても必要である。反対する理由が分からない。慎重派の方の意見を聞くことがあるが、結局は反対のための反対意見なのではないか。プルサーマルは、国等として堂々と推進して欲しい。
- ・日本はエネルギーの乏しい国ですので、プルサーマル導入を希望します。
- ・環境面から原子力は不可欠。着実に推進すべき。プルサーマルでも資源有効利用から推進すべき安全性を十分確保できる。
- ・環境に対してCO2を排出する量が少ないので是非安全を確保しつつ進めていただきたい。
- ・日本はエネルギー資源が少ないので、エネルギー安定性から、推進すべきである。エネルギー政策上も欠かせないと思われる。
- ・石油の代替としてこの検討は必要と思う。安全性の向上につとめて欲しい。
- ・日本の原子炉(原発)の基準は厳しく設定されており、その部分では安心したが、昨今の女川原発のトラブルは人為的ミスがほとんどなので、対策をしっかりとしてほしい。資源の少ない日本にとって原発は必要不可欠なものなので、地元の徐々に徐々に安心してもらうためにも、よろしくお願ひします。
- ・資源のない日本ですので「安全安心第一」の計画どおり進め、将来のエネルギー確保に万全を期していただきたい。とにかく「安全第一」です。
- ・未来への燃料として期待しています。説明を聞き内容がわかりました。安全でよりよい燃料としてください。
- ・安全第一で進めてください。
- ・安全が100%(科学技術で100%ということはありませんが)確立していれば採用OK。
- ・着実に安全に進めてください。
- ・安全性が確保できればエネルギーの有効活用は必要であると思う。
- ・安全に実施して頂きたい。
- ・安全で安心な発電が継続されるのであれば、資源の有効利用の観点から推進すべきである。
- ・安全に使用する事を第1におねがいます。問題点は問題でないのではないかと思います。
- ・プルサーマル導入後も各種データ収集に努め、当初計画通りである事の検証をお願いしたい。
- ・機械的なトラブル、故障は絶対にならないように。人間ミスをカバーする機械的対策を。全国民原発の立地していない地域の人に対する風評を無くすこと。
- ・石油の代替としてこの検討は必要と思う。安全性の向上につとめて欲しい。
- ・国が主体的に取り組む問題であり、「顔」が見えない。フランスのように国民世論をリードしていくべき。
- ・プルサーマルは、資源の少ない我が国にとって必要。国等で協力している我が街に、国として、地域振興に力を入れていただきたい。
- ・政権交代が行われているが、エネルギー政策、食料政策等国の基幹に関わる政策については、継続して取り組まれる様お願ひする。特に原子力発電所等の原子力については、長年に亘る地元の理解のもとに立地し建設されていることを十分に理解し、今後とも地域の安心に資する様、十分な理解活動をされる様、関係者の努力を期待する。
- ・プルトニウムの利用については高速増殖炉が有るが、実用にはまだ多くの時間を有する。現在国が保有するプルトニウムを消費するためにも、プルサーマルは有効であると考え。
- ・出光先生の話は写真や図で分かりやすくプルサーマルは十分安全であることが理解できた。留学生の話でもあったように国際的にも疑念を持たれないように、あるいは資源の有効な活用という観点からもプルサーマルを推進すべきと感じた。
- ・高速増殖炉が不可能ならやめたほうが良いと思う!!! ムダ

基調講演会「プルサーマルを考える」についてのアンケート (牡鹿会場) 2/2

- ・住民にとって何も良い事がない。東北電力にとっても現在も将来的にもメリットがない。プルサーマルはやめるべき！
- ・やっぱりプルサーマルはいやです。
- ・電力《エネルギー》は不足する。そのためには、原子力エネルギーに頼るしかない。だからプルサーマル計画は必要だ。と問題を単純化しているところがとても信じ難い。安全性についてもこうすれば絶対安全だとの主張が散見される。人間のすること、わかっていることには限界があるという立場を無視しているところが不可解である。
- ・核燃料サイクルの一つひとつが破綻しており、まずもって核燃料サイクル計画を見直す事が先。いそいでプルサーマルを行う事に疑問を感じる。
- ・プルサーマル計画には問題点が多いと思った。
- ・核廃棄物処理や環境倫理の面から、これ以上拡大する原子力政策から足を洗うべきです。最終処分場も決定しないうち見切発車させるのは、順番が逆だと思えます。再生エネルギーはこれ以上膨大に膨らむ原子力政策に比べれば(工場閉鎖など含め)安いコストで済みます。早く再生エネルギーにエネルギー政策をシフトさせ、金をつぎ込むべきです。
- ・最近、女川原子力発電所のヒューマンエラーなどが続き、安全保安院から厳しい指示文書が出たとのことであるが、今後電力はしっかりと発生原因をつきとめ現場にフィットした確実な再発防止対策を期待されるが、具体的にどういうふうに進めていくつもりでしょうか。
- ・安全性に疑問がある。
- ・単純に考えてほんのわずかでも危険性やギモンがあるものを”安全です”と言い張って推進することにこわいなと思いました。目に見えない核の問題についてもっと真剣に考えていかなきゃ！と思いました。この問題に関心を持って以来自宅で太陽光発電をやっています。家庭用電力については太陽光発電について推進したほうがいいのではないのでしょうか？危険なものも考え直して欲しいです。
- ・濃縮ウラン(軽水炉)の原子炉にMOXを入れる事に對し「十分の余裕があるから…」安全という説明と「最低でも試運転を繰り返して、商業用(原発)に使用できる」というが双方の科学的根拠が解明されない限り、安全安心とはならない。
- ・今回の講演を聞いて安全性について完全に確認されたとは云えず未だ不安は解消されない。
- ・何はなくとも地元住民としては安全が第一です。普通の原発でさえ安心が100%担保されていないのに何でプルサーマルを女川原発で実施しなくてはならないのが疑問です。
- ・MOX燃料の製造から廃棄までの施設の現状が良く見えない。政権が変わっての変化が気になる場所である。
- ・プルサーマル計画は慎重に進めるべきだと思えます！
- ・私自身の知識が乏しいため、内容を理解できませんでした。勉強し直してから意見を出したと思います。
- ・専門的な講演が多く、聞く側はむずかしかった。
- ・両者の話を聞いてどちらが良いか分からなくなりましたが安全性には留意して頂ければ良いと思います。
- ・必要とする理由と効果自体へのギモンが各々説明がなされ一体どちらの説明に主体が有るかギモンが深くなった。費用 VS 安全性、BESTな検討と実施を！
- ・両講演の内容にけん制しあう部分があったので、何ともいえない心境でありました。
- ・このような催しを増やし(国・県)で欲しい。
- ・今回のような講演会をもっと行い、市民が勉強できる機会が必要だと思えます。
- ・各立場が講演するのは良いが、問題(話)の焦点を絞ったほうが良いのでは？安全性、必要性、核兵器による道義上の問題のうち地域住民に話す内容を選択しながら講演したほうが分かりやすい。
- ・質問のとり方が電力の説明とよめることが多かった。回答は事前に用意されていたように感じた。
- ・プルサーマルに対して理解はするが、原子力政策の全体像が判りにくい。最終処分の方策等を決めないままでは不信感はぬぐえない。第一部はあまり必要なかった。第二部の話しをもう少し聞きたかった。
- ・プルサーマルは核燃料サイクルの一環なので、核燃料サイクルの現状について議論すべき。
- ・推進側と反対側で同じテーブルで議論すれば時間の節約になる。早く結論が出る。
- ・プルサーマルについて、導入の可否を問うという姿勢があれば、今日の講演会の進行にはならないはず。推進前提の講演会。このような催しは何回やっても無駄。会場との質疑応答に充分時間を取らなければ、公平なものとはならない。
- ・東北電力で質問事項事前に配っているのが疑問がある。3名の市内の者に質問させている問題がある。
- ・小林先生の話しは理解できない。
- ・小林圭二先生の意見、反対だという趣旨は分かるが、高速増殖炉であればプルサーマルはよいのか、核燃料サイクルはよいのか…。「もんじゅ」は事故。ではエネルギー対策をどうするのか。それを明確にしてほしい。
- ・小林先生の話しをもう一度聞きたいが、10/31、11/11、11/28の開催でも聞くことが出来るのか！！
- ・出光先生の説明はもう少しまとめる必要があると思う。小林先生にくらべ説明がぼやけている。
- ・町内でも市内でもプルサーマルに対して、講演会をやるほど、興味を持つ人の数はそんなに多くはないと感じている。
- ・将来に向けて発電電力量はどの程度確保しなければならぬと予想しているのか？2009年度と比較しても増加する必要性が？少子高齢化、人口減が進む中でどのように考えているのか？
- ・テレビや他の広告で、プルサーマルの宣伝をしています。事実と異なることがたくさんあります。安全なサイクルのイメージを持たせることが宣伝の目的だとすれば成功していますね。しかしMOXの核燃料の廃棄物が100年も高温のままであることや、プルトニウムが増えること、再処理の稼働ができていないとか問題がたくさんあることは、どこにもありません(パンフとか)。
- ・化石燃料が少なくなる中で石油→ウランは必要と思われるが安全性の技術確立が必要です。地域での講演会での大学の先生の話は難しすぎる傾向。

基調講演会「プルサーマルを考える」についてのアンケート (女川会場) 1/2

- ・管理した上で使用すれば問題ないと思います。
- ・前進して頂きたい。・賛成。
- ・町民の方々にしつこいくらいに説明を行い、プルサーマルに対する理解を深めてもらいたい。
- ・優れた環境特性から、世界的に推進される原子力の供給安定性を万全にするため、プルサーマルの円滑な導入は重要な課題であり、安全に配慮しながら着実に進めてもらいたい。
- ・発電所の安全が大前提だと思いますが、日本はエネルギー資源が少ないのでプルサーマルは必要だと感じました。現実的な代替案を示さず反対ばかり訴える人はいますが、それでは自分達の子供の世代は衰退の一途をたどるだけだと思います。日本の未来のために、確かな技術を確立し、安定したエネルギー（電気）供給をお願いします。
- ・国としても、プルサーマルだけというよりも、根本的な原子力の安全を重視した電力会社の指導に努めて欲しい。プルサーマルについては、資源の再利用による有効活用であり、必要との認識を持っている。
- ・エネルギー資源の少ない日本はプルサーマルを推進すべき。
- ・必要性について理解できた。化石燃料に限りがあるのはすべての人が承知している。小林先生はマイナス面を強調されたが、マイナスをプラスに変える研究もした結果であろうし、今でもたゆまぬ検証などをたゆまず続けることを期待し、絶対安全を目指し進んでほしい。諸外国で実践中であることも判断できる。
- ・エネルギー資源に乏しい日本は、プルサーマルを積極的に推進すべきだと思います。
- ・資源の少ない日本。地球環境問題などがある中でプルサーマルは大事。是非進めてほしい。
- ・資源有効活用は進めるべき。
- ・前にプルサーマルはエネルギーのリサイクルだと説明を受けて、とても感心しました。その時はよく分かりました。もし必要な事（私たちが生きて行くうえで）なのであれば、何度も説明会を行い、一人一人が本当に理解したうえで計画をすすめていってほしいと思います。
- ・エネルギー少国なので、確実にプルサーマルを進めていただきたい。
- ・プルトニウムは現在の原子炉でも燃えており安全に扱える。資源有効利用のみならず、将来に向けたエネルギー確保のため、プルサーマルは是非進めるべきです。
- ・プルサーマルを確実に進めていくことが、将来の高速増殖炉時代に向けて重要であると思う。
- ・エネルギー資源の乏しい日本においては、安定したエネルギーを供給するためにはエネルギー資源を有効活用しなければならず、そのために実績のあるプルサーマルを導入しなければならない。先行においても安全性が実証されており、女川においてもプルサーマルを積極的に実施すべきである。
- ・エネルギー問題を国家の問題と考える。核燃サイクル、そして高速増殖炉まではプルサーマルは避けられない現実であるとする。
- ・必要性はあると思うので、あとは安全性が保たれば問題ないかと思う。とにかく安全第一でお願いします。
- ・何事にも安全。プルサーマルならば良いことかなと思います。
- ・必要なことであり、安全に進めてほしい。
- ・安全、安全、安全性をお願いします。（ママ）
- ・安全第一をお願いします。
- ・危険性が多いが電力社員又作業員一同で安全防止に心掛けてがんばって下さい。
- ・絶対安全であってほしいです。
- ・使用にあたり安全性の確保。情報の提供を多く。
- ・資源の再利用であるプルサーマルは必要であると思います。安全に注意し進めてほしい。
- ・安全にだけは充分注意して下さい。
- ・科学者の英知と良心を信じて、国の保安指針（安全安心の確認）を明確に示し、プルサーマル計画が実施されることを望む。
- ・安全性が確保出来ればよい（プルサーマル良）。
- ・安全第一で取り組んでいただきたい。国として地域振興に力を注いで下さい。
- ・プルサーマル計画は必要である。国・事業者とも理解増進のためもっと努力してほしい。
- ・この地で生まれ、育ち、今に至っております。原発に関する事も、計画時\$59 開業よりずっと身近に見て、関わってきました。決して安全な物とは言えないと思いますが、それを安全と思えるように住民が理解してもらうには と考えます。常に緊張感を持って、安全性に細心の注意を持って下さい。住民から NO が出来ない様に。
- ・国策でやるのだから、もっと国（自治体も）が責任をもって進めて欲しい。（国がリードしている姿が見えない。）
- ・サイクル政策自体破綻している（技術的課題をクリアしていないし、その見込みもない）中でのプルサーマル導入は使用済燃料の問題、国際的なプルトニウム保持に対する疑念の解消以上の意義は見出せないと思う。
- ・日本の政治で、まだ実験レベルのプルサーマルを導入することで、この石巻に住めなくなるのではないかと大変心配である。ただただやめてほしい!!
- ・食の安全や、環境問題に注目があつまっている中、CO2 は一見出さなくてもいいかもしれないが、放射性物質の環境中への放出が高まる再処理をすすめて、原発事故の危険性を高める MOX 燃料を使う理由がエネルギー政策というが、代替エネルギーの国際的開発競争がすすみ、実用化がすすんでいるのに、おろかな選択だと思う。
- ・プルサーマルを始める為に必要な経費（新しく必要な設備や運用するのにかかる費用）が発電で純粋に得られる収入と大差ないならやらなくていいんじゃないかと思いました。
- ・プルサーマルの説明をお聞きしましたが、小林先生の説明をお聞きし、危険性がある事を知り驚いています。（外国での事故など記憶にあります。）
- ・「安全神話」の元、本来ウランを燃やす原発でプルトニウムを燃やすのは、例えて言えば石油ストーブにガソリンを入れて燃やすようなものだと思う。反対です。もし、どうしても計画を推進するのであれば、不安を持っている町民が納得するような実証試験を十二分にすべきであり、尚且つ、青森県の大間フル MOX を安全に長期的に運用してから検討すべき。
- ・プルサーマル後のゴミの問題をしっかりと決めてから、議論するべきだと思う。
- ・エネルギー対策の必要性は理解しますが、やはり使用済 MOX 燃料の処分のことが心配です。半永久的に女川サイトに保管などは考えられません。

基調講演会「プルサーマルを考える」についてのアンケート (女川会場) 2/2

- 今でも、事故・トラブルが相次ぐ女川原発に対して不信感を持っています。特にヒューマンエラーの繰り返しにはうんざりです。また、日本で2ヶ所での実績、2体、4体のみということには納得がいきません。実際の原子炉であくまで実証して、しかも1/3までMOX燃料を使用し、安全であることを国民に示してから、この計画を進めるべきと考えます。
- ・一貫した方針と施策、そして国が前面に出た対応、対策が求められている(特に再処理と廃棄物について)。立地点振興策も必要。
 - ・リサイクルし燃料を再生産することは大変良いことと思います。安全性について心配になった。
 - ・プルサーマル計画の必要性について、ある程度理解出来たが、小林先生がプルサーマルの利点がないとか必要性がないとか説明されていたのを聞いてから、プルサーマル計画がほんとうに必要なのがギモンに思う。
 - ・もっともっと議論する必要があると思いました。プルサーマルという言葉が初めて身近に考えることができました。必要性和問題点と合わせて講演を聞くことができ良かったです。手話通訳の方、すばらしかったです。
 - ・基調講演会(第2部)について、初歩的な知識がない我々にとって難しすぎると感じました。
 - ・推進側の先生と否定的先生との討論を聞いてみたい。お互いに本音の話が聞きたい。
 - ・考え方・立場等で大分受け取り方が違うと感じた。以前より難しい問題になってしまった。もっと踏み込んで考え、判断しなければと思った。
 - ・今日の講演より地区毎の説明会の方が理解しやすかった。
 - ・全般的に説明が専門的すぎる。一般の方は理解できる訳はないと思う。資源エネルギー庁・森本氏も言っていたように、「プルサーマル計画は、国が前面に立って取り組みます。」のとおりに国策なのだから、国がもっと地元住民の方々への理解活動をすべきである!!
 - ・慎重派の意見は貴重。慎重派に対する説明・回答をパネルディスカッション形式で聞きたい。東北電力が導入した場合の体制を策・策共に向上させなければNO。ミス～謝罪～再発防止策提示～シャンシャンはあきた。
 - ・何度か説明会に出席したせいか、理解が深まりました。
 - ・安全性の確保について説明不足かなと思った。
 - ・メリットは理解できたが、デメリットはどれ位あるのかももう少しわかりやすく知りたかった。
 - ・みなさんおつかれさまでした。ありがとうございます。
 - ・講演会の内容が不公正だ。住民に何の先入観もなく判断を求めるなら、推進・慎重・同時間とすべき。司会も含めて会場で質問を言うようにしてもらいたい。
 - ・一番説得力があったのが小林さんの説明でした。で、だれが判断を下すの?だれが責任を持つ?参加者全員疑問に正面からトコトン答える姿勢がないのでは?交通機関の時間を理由に質問を制限するのはおかしいのでは?
 - ・不公平な運営だ!
 - ・スライドと同じ資料を配布してほしい。まるで視力検査をしているみたいだった。
 - ・早口で少しわかりにくかった。
 - ・説明が早くて棒読みで意味がわからない。
 - ・森本氏の説明が早すぎるのではないかな。スクリーンの字が小さすぎる。
 - ・小林先生の話はわかりやすかったが、単に「やめるべき」では無責任だと思う。将来までエネルギーを確保していくために、新エネ・省エネも含めて現実的な取り組みを真剣に考えていく必要はあると感じた。
 - ・推進派と反対派の先生の主張の違いがよくわかった。それにしても反対派の先生のそれは高速増殖炉ならば推進してもいいということなのか、どうもよくわからなかった。
 - ・出光先生の話で安全性については理解できたが、風評被害については実際には正常なものも一部の人間が騒ぎ立てることにより人為的に起こされているのではないかなと思う。
 - ・プルサーマルは難しいがちょっと難しい。電気がないと生活していけないので、毎日の生活において考えなければならないと思う。
 - ・1号機と2号機にはなぜ使用しないのか。なぜ3号機だけなのか。1号機と2号機に問題があるのであれば公表して、修繕すべきところは修繕してほしい。
 - ・本当に高速増殖炉のようにウランをリサイクルできれば良いと思うが、プルサーマルでは1%程度(小林先生・梅田さんは10%?)という。プルサーマルということばは不適切では?
 - ・東北電力よりの説明は何度も聞いていたが、国の施策として進めるならば、国側の説明がもっと早くやっても良かったのではと思います。技術的な面は信じるしかないなので、安全面に気をつけて進めて欲しい。エネ庁の課長さんは内容がいっぱいだからでしょうが早口でわかりにくいです。
 - ・国策であるならば、国の積極的な働きかけにより、もっと前面に出て進めて行ってほしい。

「プルサーマルを考える対話フォーラム」についてのアンケート 【プルサーマル計画に対する自由意見等(万石浦会場)】 1/2

- ・慎重論者の方が下手。問題点が分かりにくく、参考資料の論点の整理うまくまとまっていると思う。(今回の)課題に対する答えはどこまでまとめられるのでしょうか？フォーラムだけでは全部カバーできないでしょう。最初にプルサーマルの説明をすべきではないか。
- ・基本的に脱・原発でいきましょう。
- ・山名氏の説明はわかりやすかった。
- ・先生方の話、あまりにも専門的で分かりにくいし理解しにくい。数字や用語が多すぎる。もう少しだけで、わかりやすくていいでしょうか。大学の講義を聞いているみたいだった。それでもいづらか理解できたのが収穫だったようです。
- ・山名先生の説明がわかりやく良かったと思います。
- ・一般主婦に対して話の内容が難しかったが、講師先生のお話はすばらしかった。
- ・技術的にはまだまだ心配などがある。エネルギー政策に疑問あり。
- ・1. 説明の進め方が明快でよかった。2今後市民の意見を聞くような場を作って下さい。
- ・このような討論会は貴重な機会である。一人一人がエネルギーに関して関心を持てるようにするためには、プルサーマルを考えることは一つのきっかけとなる。専門家の意見をもっと発信していただきたい。エネルギーの安定確保の観点から、原子力は必要であるし、将来の高速増殖炉につなげるプルサーマルについても必要であると思う。
- ・資源のほとんどない日本においてはわずかな資源も無駄にせず利用すべきである。そのためにリスクがあるのであればそれを克服していくのが技術だと考える。プルサーマルで得られるエネルギーはあまり多くないとしても推進すべきである。
- ・エネルギー資源の少ない日本では是非とも必要な計画です。長期的なエネルギー確保のためにも早期に計画どおり実現するようお願いします。討論に関しては推進の先生の話はわかりやすかったが、慎重の先生はわかりにくかった。
- ・宮城県・女川町・牡鹿主催の説明会に参加したが慎重派(反対派)の説明は“反対のための反対”でメチャメチャな内容であった。しかし推進派、東北電力の説明は資料、考え方、説明が誠意ある姿勢で好感が持てました。とくに東北電力側は、「社内体制整備を行う」と説明。誠心誠意出席者へ説明しており、計画どおりプルサーマル計画を進めるべきと考えます。
- ・後半の質問で電力の人がお答えになりましたが、当初からそれ(事故防止の体制作り)を可能にしていた良かった。反対の専門家(研究者)も居られると思うので、その立場の人の講演も望みます。
- ・慎重派の方は、エネルギー供給をどのように考えているかよく判らない。
- ・資源の少ない日本においてはプルサーマルが必要であることを改めて認識した。開催していただきありがとうございました。
- ・きちんと整理されて進行いただいたことが良かった。
- ・CO2削減、資源の少ない日本ではプルサーマルは必要と感じた。技術も確立されているということであるが、安全第一にお願いしたい。
- ・今回の対話フォーラムは、判断材料の提供という目的よりも、プルサーマル実施を前提に進められていると感じた。なぜ反対派ではなく慎重派なのか疑問である。・安全性は全く問題ない。日本の国情を考え国が前面に出て、強かに推進すべきだ。
- ・資源の少ない日本はどうするのか？CO2の問題もあり、次世代、次々世代を考える必要がある。原子力だから反対でなく(原子力アレルギー反対派)、人が生きていくためどうするのか？
- ・質問をされた方は推進の意見が多い。何か不自然な感じがした。使用後のMOX再処理の話は興味深い。プルサーマルの無関係な質問はどうか？→前段が長い→手短かに誘導すべき。質問より自論を展開している方が居たが、これは質問では無いのでは？フロ市民か？ハネラーではない電力への質問が主であったように思われる。大多数の方は無関心で、一部の反対と賛成なのかと感じた。
- ・傍聴ルールがきっちり決められているため、安心して聞くことができた。
- ・大学教授の解説はやはり難解。一般市民には理解できないし、対話もできない。司会者も先生方も早口すぎる。「時間制限」あり過ぎ。テレビ放送ではないのだから、ていねいにゆっくりやってほしい。
- ・地元開催ということで「女川原発」原子力反対の質問で時間をとられ不愉快だった。
- ・質疑応答の時間で山名先生が、欠如モデルの観点に立ってお話になられていたのが気になった。地元で対話フォーラムを開催することの意義はとても大きいと思います。専門家と市民が、話し合いができればもっと良いと思います。
- ・ファシリテータの解答のような、各項目ごとのコメントは省いて質問時間へまわして欲しい。
- ・省エネこそ最大のCO2削減。原発に頼り過ぎないことこそエネルギー安全保障と感じた。エコフロダクツ展を見てきたが、LED電球が普及すると電力は1/8位で済むし、新しいエネルギー 自然(風か太陽光)→水素エネルギー→CO2ゼロで電気をつくれるなどの社会がくれば巨大大電力会社も発電所もいらなくなるのではないか。
- ・将来の資源不足を考えると危険な要素もありますが、必要性もありますので難しい課題であると思いますが、プルサーマルは必要かと思えます。
- ・プルサーマル計画は絶対実施すべき。資源を持たない日本は必要である。
- ・前回より分かり易い内容で講演されており、さら理解が深まった。
- ・化石燃料資源が少なくなっていく世界的な不安を考えると、今のうちからその対策が必要と思われるので、どうしてもプルサーマルは必要と思われる。(ただし)原子力発電が不要となる革新的な発電方法が早く確立されることが一番の望みです。
- ・慎重に考えることを基本として考えたい。
- ・今回のフォーラムで山名先生のお話が聞きやすかった。電力さんからの説明がもう少し足りないのでは…。皆さん電力に疑問を持っているようです。
- ・制約(時間)された中でフォーラムでしたが、専門的な部分がかかり多い中で比較的理解しやすいフォーラムであったと思う。

「プルサーマルを考える対話フォーラム」についてのアンケート

【プルサーマル計画に対する自由意見等(万石浦会場)】 2/2

- ・世界中で実績があり大きなトラブルがないのであれば、技術的にも確立されていると思う。安全第一で進めれば良い。
- ・市民の立場として専門的でむずかしくて理解することが出来ませんでした。
- ・安全を最優先に着実にプルサーマルを進めて欲しい。
- ・時間が短い。放射性廃棄物を受け入れる市町村が7年たっても見つからない…。この論議は必ず出るが、これに限らず想定されやすいものなのだから、行政の考えも聞くため行政トップの座席も設けるべき。老朽化した女川原発が事故があった際、県民はどこへ避難しよう補償されるのか。住めない、食べ物が無い地はゴメンである。
- ・プルサーマル計画の出口がない中で導入は問題。山名氏の回答は具体性がない。推進する以上具体的に安全性の技術の説明を行うべきである。
- ・感情的に話すような人物の話は聞いていて不愉快である。
- ・9月5日のプルサーマル(基調講演会)に参加したが、今回の資料に専門用語をいくつか記載していたが、資料も含め分かりやすいものにしてほしい。
- ・フォーラム出席者、質問者等東北電力で頼んだとも思われる人ばかり。とんだ茶番です。フォーラム開催の実績のみを求めているもの。税金の無駄づかい。ざっと見て電力社員・OB・関係会社80%。
- ・安全性を重視してほしい。
- ・是非プルサーマルを推進してほしい。
- ・安全性の再確認？
- ・これまで以上に理解を深めることができた。プルサーマルの必要性を再認識した。
- ・安全性に留意して、計画を推進していただきたい。
- ・原子力発電そのものについてまだまだ不勉強なため、良く分からないところが多くありました。話を聞くとプルサーマル以前に原子力発電そのものに疑問を感じます。どうして、何をどうしたって危険な物質を生み出す方法を用いて電気を作らなければならないのか？ひとつ事故が起きたら多くの人が被ばくする。そんなリスクを負ってもしなくてはならないのだろうかとの思いを強くしました。東北電力には私のような素人へ向け原発そのものの理解を深められるフォーラムを開いてほしいと思います。
- ・質疑応答の時間をもっと取るべきです。
- ・質問内容について簡潔にするように勧めて欲しい。質問者に時間制限させより多くの質問を受けさすべきではないか。
- ・六ヶ所村での再処理が難航している。このようななかでプルサーマルというのはあり得ないのではないか。
- ・質疑応答の進め方に工夫と努力を！例えば申込時に質問を記入して申し込んだ方もおると思います。全体をまとめて回答されることもいいのではないか。
- ・環境・エネルギー問題を考えた場合プルサーマルは必要である。
- ・9月5日にも参加したがハネラーが変わることによって違った意見もあり参考となった。今後の計画においてもハネラーの変更をお願いしたい。
- ・何事もメリット・デメリットがあるのはわかるが…。推進側は何も問題なく、必要なことは強調しているようだ。いいことばかり並べすぎる。慎重派は全体反対ではなく、今の技術力では、十分ではなく高レベル廃棄物がたまりつづけるのに問題があるのでは、と問いかけている。どちらかという、後者の方が理解しやすかった。
- ・技術が未熟で確立されていない印象が強く残った。海外の例を多用されているが、国内で始まる玄海ではMOX燃料が女川の計画に比べて非常に少ないのはどうしてか？逆に言えば、女川の計画が突出しているとも言えるが大丈夫か？どうしても聞かなければならないのは、使用済みMOX燃料の行方です。原発サイトに永久貯蔵の可能性は？
- ・プルサーマルについて大変理解できました。
- ・二人とも核燃に賛成のようなので、参考にならなかった。
- ・質疑応答で、質問者の自論が多すぎると感じた。両先生の論をもう少し聞けるように、聴講者側のモラルが更にアップしてほしい。
- ・慎重・推進派の立場から見た先生方の話は、どちらをとっても良い面・悪い面あるのだろうと思った。専門的な話は私たちが理解できない。プルサーマルを進めていくのならば「結果を残す」。それだけだと思う。
- ・エネルギー問題でありがちな、ある意味国策とも言える問題でありながら国の関わりが全く見えない、感じられない。研究者、電力会社、地方自治体が必死に理解を求め、説明している姿に疑問を感じる。今日のような専門的な対話フォーラムは、一般市民・住民が理解するレベルにはないと思う(原子力はそれだけでなく、難しいのだから)。質疑応答で、とても不快な質問等があり、●●●な質問を質問者に求む質問者である。慎重派(反対派)のパフォーマンスは他の場所です。
- ・時間が長いので飲み物を用意して欲しい。眠かった。
- ・再処理問題で山名先生は本質をまだ語っていないのではないか。資源危機を強調しすぎではないか。館野先生のプルサーマル導入のメリット・デメリットは良く理解できた。
- ・安全に進めてもらいたい。
- ・地球温暖化の抑制の手段としても原子力を推進すべきである。資源エネルギーのない日本にとって、プルトニウムは、準国産エネルギーであり、これを使わない手はないと考える。
- ・既設の設備で利用ができて、資源エネルギーの少ない日本では、安全に利用できれば必要と考えている。
- ・安全に対し十分に留意して導入していただきたい。地域への情報提供は、こま目に行ってほしい。
- ・個人的にプルサーマルに関しての知識があったので、今回のフォーラムでのお話も理解ができた。私自身は、資源小国の日本においては、このプルサーマルの必要性を改めて感じさせられたと思います。特に、山名先生のお話が分かりやすかったです。
- ・北村先生の進行は、ヤジの制止やまとめ方が小気味よく伝わってきました。館野先生のプレゼンテーションが、やや準備不足の感じがしました。

「プルサーマルを考える対話フォーラム」についてのアンケート

【プルサーマル計画に対する自由意見等(石巻文化会場)】 1/2

- ・核燃料サイクルは、技術的にもまだまだ不十分だと感じた。使用済MOX燃料の行き先は決まらないうちは、プルサーマルを行うべきではない。女川サイトに半永久的に保管されては困る。(電力は30年は保管できるというが・・・)
- ・何度聴いても高レベル核廃棄物をどこに処分するのか、再処理工場の目処も立たない中非常に疑問です。同時に使用済MOX燃料を2010年度中に方向性を見出すとの話ですが、その見通しはかなり暗いと云わざるを得ません。核燃料サイクルは破綻しているのでは？
- ・品質管理、安全管理、テロ対策を十分施しプルサーマルを進めるべきです。
- ・推進立場の先生、言葉に説得力なく残念です。はっきり言って人選ミスと考えます。まるで反対派の人たちの自己満足の集会の様であり、プルサーマルを必要と考える私にとっては、本当に残念です。質問・回答をタイプするする人、へたくそでイラッとします。入力ミスするたびに気分が悪くなります。
- ・人がすること、安全を前提にせず考えて欲しい。
- ・質疑応答の時間を多くとってください。
- ・ヒューマンエラーの安全基準が甘いです。なぜ失敗したか、再発したか問題解決がなして。低レベルです。第三者機関に参加している人は本当に適格者ですか。「失敗学」(書籍?)を参考にしては。
- ・厳しい管理のもと進めていただきたい。
- ・安全性の問題さえクリアされれば、これからのエネルギー問題の答えが出てくると思う。反対される側の代替案は自己満足ではないか。検証が必要。
- ・小山先生の放射能に関する説明は、内容に正確性を欠き、不安をあおる内容と思った。
- ・プルサーマルは高出力を出せるエネルギーになる。早く先進国は火力(発)から切り替えていくべきなのに反対派の方はデータミスなど、スミを「つついて」いるように見える。純国産エネルギーが見つかっているのに何十年も足踏み状態です。日本はトップレベルの技術があるので早く安全を世界にアピールして地球全員で行うべきものと思う。中国がCO2を出し始めているので火力(発)ストップ。
- ・安全第一、安全重視で取り組んでほしい。
- ・飲み物禁止はキツイ。
- ・フルトニウムが増殖炉などで有効利用されれば、将来のエネルギー問題は解決されると思う。プルサーマルはその前段に位置付けられると思う。安全第一で実施して欲しい。
- ・お互いの先生の考え方に対する論議が欲しかった。
- ・エネルギー資源の少ない日本国では、将来に亘って必要であると思う「プルサーマル」の早期導入をお願いいたします。安全性については外国でも日本でもすでに了解、実施済みです。反対の人はなぜ反対するか疑問であります。
- ・大変有意義な説明・討論の機会をいただきまして有難うございました。このような積重ね、国、電力会社と住民、国民との信頼関係を形成していくものと思います。内容に関しては、九州電力の運転開始について最終処分場、高速増殖炉の将来計画について、見直し開始だったか、もう少し明確なお話を伺いたかった。
- ・現在のエネルギー情勢を考えれば原子力は不可欠。この確立のためにもプルサーマルは必要と思う。安全も十分確保できていると思うので早期の導入すべき。
- ・余剰フルトニウムを持たないという点についても触れていただきたい。
- ・事実を忠実に話しされるか否かで人間性まで判断されると思います。希望的観測や強引な論理は聞きづらく本当に公平な意見かと疑われます。慎重に考えるべきだと思います。奈良林先生は、ご自分の専門の有効性に固執しすぎていました。
- ・推進派の先生の説明資料、説明が非常によく理解できた。また東北電力主催の説明会にも出席したが、誠心誠意回答されており大変良かった。計画どおり推進すべきと考えます。
- ・エネルギー不足という人質をとって他のエネルギーの開発やその素晴らしさを教えることなく、原発以外に選択の道はないという奈良林さんや山名さんの話は世界が狭いと思います。プルサーマルをすることによる大量の熱放出が温暖化を進めることや、再処理に伴う放射能汚染の危険をどう考えるのか。極論を言うとエネルギーより食の安全が大切です。
- ・質問がしつこい(問題が特定できない)。
- ・環境・エネルギーセキュリティーの観点からプルサーマルは必要である。
- ・慎重派の方は不必要な不安をあおるような発言が目立ったと感じた。もう少し具体的に話す方が良いと思う(推定や推論ばかり。国に対する不信任に凝り固まっているように思った)。質問が反対派に偏っていた。
- ・今回の対話フォーラムは9/5の女川の集会(基調講演会)に比べ、大変分かりやすかった。ファシリテータの議論の進め方もよかった。ただ、反対派と推進派の議論は変わらないというのは残念でならない。プルサーマルは一日も早く進めるべきだ。
- ・エネルギー資源の乏しい我が国においてエネルギーを安全に供給するためにもプルサーマルを是非導入すべきである。また安全性においても、国の厳格な安全審査によって審査され、認められているため心配ないと思っている。
- ・対話フォーラムについてエネルギーの有効活用と放射線問題についての議論が賛成・慎重の立場から行われ有意義であった。プルサーマル計画については地球温暖化防止の観点から原子力発電が大事であると考えられるので、原子燃料の確保が大切と思われる。
- ・対話フォーラムを石巻、女川だけでなく開催していただきたい。以下質問①議論がつくされないのになぜ早く②MOX燃料を使うことを想定していない原発でなぜ運転するのか。その前に実績・実証を・・・(不明いではないか③宮城県沖地震が予想される中です。そんな地域でやるべきでないと思える。なぜゴリ押しするのか。
- ・フルトニウム消費のためのプルサーマルはやめるべき。地球温暖化、エネルギー問題を口実とすべきでない。プルサーマルの問題に絞るべき。諫早のアサリ死滅は干拓が原因ではないか？
- ・それぞれ精度に欠ける。却って消化不良の感ある。

「プルサーマルを考える対話フォーラム」についてのアンケート

【プルサーマル計画に対する自由意見等(石巻文化会場)】 2/2

- ・プルサーマル資源の有効活用のためにも必要であり、将来のためにも確実に進めるべき。東北電力も地域のために頑張っている。
- ・核燃料サイクルは日本の持つ優れた技術を集め是非とも確立させるべき。プルサーマルについては技術的に問題ないので、推進すべきと思います。
- ・世界の環境・資源確保のためプルサーマルは必要。
- ・メインは安全である。慎重派からの問題提起に対し、地球温暖化や今後の科学技術に進展により克服という答えは真の回答ではないと思う。不安をかかえたまま運転は問題であるとする。政府が莫大な税をつぎ込むのであれば、自然エネルギーにこそ使うべきである。多くの雇用にも繋がる。
- ・国としてエネルギー施策をもっとPRしていくべき。
- ・人類が豊かな生活を営んでいくためには、プルサーマル(資源確保)、原子力は必要!
- ・慎重派ではプルサーマルに反対をとこなえているが、それに代わるエネルギーについて何の話もない。推進論ではMOX燃料の安全性についてももっと論ずる事が必要と思う。運営スタッフの出入り口での出入りが多すぎる。
- ・とにかくMOX燃料を使用した後処理をハッキリさせてからスタートすべし。まずは今の原発をしっかり監視して欲しい。
- ・プルサーマルに賛成です。
- ・女性質問者がなく、男女の均等な理解が進まないで大丈夫かなと思う。
- ・全電力でプルサーマルを実施する必要があるのか?大間だけですれば良い。足りなければ東京で。放射能より放射線レベルが重要。小山さんは科学者なのだからウソを言うてはいけないと思う。
- ・是非プルサーマルを進めていただきたい。
- ・前回開催の説明があったが、時間が限られており資料で配布すればよいのではないかと。前回よりスムーズにいったと思う。質疑も多く出て勉強になった。資源の少ない日本ではプルサーマルは必要と感じた。安全第一で進めてもらいたい。小山先生は六ヶ所村の原燃の再処理工場が稼働すると、放射線が三陸までふりそそぐとのことだが、本当にそういうことがあるのか、二人の先生に聞きたい。
- ・プルサーマルを進めていただきたいと思います。
- ・これからのエネルギーを考えるとリサイクルできるプルサーマルは必要だと思えます。ですが、安全性の問題、日本の経済を考えるとこれからのエネルギー自給率というのは安心出来るのか少し考えさせられました。反対でも賛成でもかまいませんが、発電所が自紙にもしっかり耐えられ、困らないように暮らしていければ、良いので(しっかり安心できます)と自信をもって、これからの期待します。
- ・時間的制約がある中でやむを得ないが、ファシリテータの進行にもう少し"つっこみ"が必要と感じた。プルサーマル(MOX燃料)自体は、今の燃料と大きな違いがないのに、なぜこのような大がかりな討論が必要なのか疑問である。
- ・エネルギー資源の少ない日本において、エネルギー確保はプルサーマルは必要であると感じた。安全に十分に対策をとって推進してほしい。
- ・原発反対者が組織的に来ているのではないかと。大変残念です。プルサーマルを進めるべきだと考えます。
- ・高速増殖炉の稼働、高レベル廃棄物の保管問題の解決なしのプルサーマル計画の先行実施は如何なものか?
- ・原発の慎重・推進の講演の様に感じた。プルサーマル自体は資源の有効活用の意味から重要であると思うが、核のゴミ処理方法が最重要と考える。
- ・プルサーマルは必要性がない。危険である。使用済MOX燃料をいつ女川原発から出すのか?
- ・温暖化防止と資源リサイクルの観点からもプルサーマルを早め実施すべきである。
- ・環境と安全の調和を図りながら進めていくべきと考えます。
- ・慎重派の考えは、過去の失策等や安全性にあまりにこだわり過ぎて、次世代の代替エネルギー案がみえてこない。推進派には国策やIAEAの査察等を生かし、エネルギー資源のない日本においては、プルサーマルを考えるべきではないか。つい先日(11/8~9)六ヶ所原燃の視察をさせていただく機会があり、子や孫にもニュースや原発、原燃施設、温暖化、エネルギーについて自分の目で確認するようアドバイスし、体験させたいと感じました。東北電力の広報や体験の場の提供を希望します。
- ・諸外国の実績を踏まえれば問題ないと思うし、限られた資源は有効活用すべき。小山先生は「タラレバ」の話。そのようにならないという反論を聞いたかった。
- ・異なる立場の意見が聞けて、大変有意義でした。
- ・北村先生の司会はとても良かったですね。推進派も慎重派も感情的・情緒的にならず冷静にかつわかり易く説明・対応いただき、良い討論会になったと思います。小山先生はガチガチの反対派というより建設的な見張り役というイメージ。私はプルサーマルには賛成の立場だが、小山先生のような方ならば、慎重派の意見も聞きながら推進していく必要があると思います。安全第一で推進していただきたい。
- ・原子力発電はエネルギー資源のない日本にとってはどうしても必要になると思う。さらに資源を有効活用できるプルサーマル計画は安全に十分配慮したうえで進めて欲しい。
- ・小山先生のデータ根拠が弱く、電力会社への聞き取り中心であるように感じた。安全性については程度問題であり、その大小が少し見えなかった。

「プルサーマルを考える対話フォーラム」についてのアンケート

【プルサーマル計画に対する自由意見等(女川会場)】 1/2

- ・プルサーマルの燃料の利用スケジュールと技術追従の進捗状況をより分かり易く市民・町民・国民アピールする必要があると思いますし
- ・技術保護の観点から難しい面もあるように思います。信頼を得て実施するために「大本営」発表にならないようにして頂きたいです。そのくらいしか希望を持たない討論会の内容でした。
- ・プルサーマルについては、エネルギー資源のリサイクルの観点から賛成である。少資源国の我が国にとっては、非常に重要な施策である。
- ・国の政策だからプルサーマル計画を進めるんでは、人間モルモットになった様な気がして不快です。
- ・再処理工場、MOX燃料製造工場、高速増殖炉、なにより、高レベル廃棄物についての見通しがはっきりしていない中、なぜプルサーマルだけを先行するのかの理由が分からない。玄海もはじまったことだし、2~3年様子を見て良いのではないかと何かあったらさらにのばせば良いのだし、今のままもう少し様子を見たらどうか？なぜプルサーマルだけ先行するの？やっぱり理解出来ない。先行するメリットは？
- ・実施した方が良いと思う。
- ・いろいろな意見を聞くことができて有意義でした。
- ・日本の将来にとって必要と思う。安全を最優先に着実に進めて欲しい。
- ・日本は技術で生きていくという考え方に賛成。省エネ、再生可能エネルギーだけで、日本が将来とも繁栄していくことは不可能。
- ・お二人の講演者の論点のレベルが離れすぎている。プルサーマルに焦点が当たっていない。一般的安全性の議論の割合が高すぎ(軽水炉でも同じ議論)。質疑応答は焦点が明確になっており、充実していたと思います。
- ・地域住民の合意形成が大切。早く取り組めば交付金が貰えるというのはナンセンス。早期の着手した伊方、玄海等と同様に国は一律に交付金を出すべき。
- ・エネルギー政策上、プルサーマルを成功させることは非常に重要。
- ・特にないが、プルサーマルは日本のエネルギーを考える上で欠かせないものであると考える。
- ・途中、電力が説明したが、理解しやすくするのなら、最初から電力、国が参加して説明すべき(政策であるなら当然のこと)。慎重派も推進派も極論を話さず、現状をきちんと話すべき、理想論はいらない。
- ・必要性の説明の論点が一元的で、理解できない。様々な視点からの必要性の議論が不足していると思われる。
- ・安全第一
- ・プルサーマル賛成！ただし、電力会社は今まで以上のプロとしての自覚を持って対応すること。
- ・有意義なフォーラムであった。パネリストの討論の時間はもう少し長いほうが良かった。
- ・不安もあったが、技術開発で乗り越えていける部分もあると思ったし、少なくともプルサーマルは安全だと思った。
- ・国策なのに国の広報があまりないのでは、事故などがあった時は電力会社にセキンを転化して？
- ・内山先生の話で「原子力があるから電気料金が安くなっている。太陽光を増やすと高くなる」と聞いて驚きました。太陽光は皆(マスコミで)いい、いいと云っていますが、そのようなリスクも開示してほしいと感じました。伴さんの話は根拠が薄弱で説得力がありませんでした。
- ・司会進行に大きな問題あり。まず進行に関する注意が多すぎ非常に不快だった。参加者に対する主催者側の態度が高圧的、管理的。関係者の釈明をHP等で求める。また、質問時間、質疑の時間が短く、参加者の理解が不十分だったのではないかと。ネットでの公開等に手間をかけるのではなく、会場でのやり取りを重視すべきだった。主催者側は行政として住民の声を聞く機会を設けたという事実だけが、重要だと思っているのでは...。(フォーラムに3回とも参加した意見。きちんと対応願う)
- ・再処理の問題で国の将来計画が見えない。
- ・伴先生もプルサーマルは慎重に進めるべきとの話は意外でした。(絶対反対ではないのですね)安全性があることについてはよく理解できた。
- ・今回のフォーラムでは、原子力反対の基本がある話であった。プルサーマルそのものの安全性ではなく原子力発電所設計を指している。地元では、若干の不安があったものを変におおる形ではフォーラムとして疑問を感じる。
- ・一般的に専門的すぎて、素人向きではなかった。
- ・これからの電力を確保するために新しいエネルギーが必要だと思う。安全なら早くすすめてください。
- ・私たち女川町にあっては原子力は必要不可欠。さらにエネルギー資源の確保、リサイクルの点でもプルサーマルはぜひやってもらいたい。FBRも将来的には進めてほしい。
- ・推進と慎重の双方から考えを聞く、このようなForumはしっかり考える上で、理解を深めることができた。まずは、イメージだけでなく、しっかり理解することが必要。
- ・安全第一を進めて欲しい。又、問題点発生時は即時止めたり、情報公開して欲しい。
- ・使用済みMOX燃料の行方を是非問いたい。今回で3回目の「フォーラム」で、基調講演会も含めると4回目となるが「推進派」「慎重派」の先生(科学者、教授、研究者)方の話をいくら聞いても疑問が解消されない。「トイレなきマンション」の汚名はいつ晴らす？
- ・必要もない！プルサーマルは止めるべき。資源の節約にもならない。
- ・高速増殖炉の世界各地の取り組みに関して、両者のデータに相当の開きがあり、どちらが正しいか疑問であった(情報収集力の違いか、恣意的・意図的かは不明ですが)。資源に乏しい日本としてプルサーマル計画は必要不可欠であり、是非推進してほしい。
- ・早くプルサーマル計画を進めて下さい。
- ・2012年、太陽の黒点に異常が生じ、地球の内部、特に核の内部に少なからず影響があると知りました。もしも、本当だとしたならば、地中に埋設した、使用済は大丈夫なのでしょうが。
- ・将来のエネルギーセキュリティを考え、プルサーマルを着実に進めるべき。
- ・反対の意見は、どうしても素人にはかっこ良くうつります。でも、研究は進めないと、地球は待ってくれない。
- ・人類の怖いところは科学技術を戦争というものに利用するところにある。核、その他の兵器で儲ける奴らがいることが悪である(北朝鮮)。人類の平和の為に利用するのが善である。

「プルサーマルを考える対話フォーラム」についてのアンケート

【プルサーマル計画に対する自由意見等(女川会場)】 2/2

- ・プルサーマルの安全性について、伴氏や質問者は過剰に心配しすぎているのではないかと、すでにプルトニウムは今でも発電に寄与しており、何ら技術的に問題ないと感じた。
- ・資源の少ない日本は、プルサーマルは必要である。
- ・プルサーマルの商業運転は少々急ぎすぎのような気がします。本当にメリットがあるのでしょうか？
- ・プルサーマル、女川町発展のためにも、エネルギー、環境のためにも、安全第一でこれまで通り進めてもらいたい。
- ・先生方の説明が専門的すぎ、一般にわかるものとしてほしい。
- ・慎重派→反対派では無いか？
- ・討論、質疑含め、慎重派説明は総じて抽象的、不明的な話し方で拝聴していてやや後味が悪かった。
- ・(1)太陽光、風力、水力、地熱等の資源量(潜在的活用できる)を教えてください。(2)耐震安全性が心配です。これまでの説明があまりにも過小評価で、信頼性に欠けます。どこの問題があったのか、反省を含め説明して欲しい(国に対して)。(3)労働者被ばくが心配です。特に超ウラン元素やプルトニウム同位体などが発生し放射線も出され、誘導放射能も増えるのではないかと。(4)使用済みMOX燃料の最終処分がどうなるか明確になってからでも、遅くはないかと。
- ・次世代エネルギーの代替をどう考えているのか、伴先生の講演は現在のところ非現実的である。
- ・討論時間が短い。最低倍の時間が必要。
- ・①原子力発電のコストは0.57円と言われたが、原子炉の最終廃棄処分まで含め0.57円でしょうか？②伴先生へ、プルトニウムはプルサーマル専用の炉で燃やすとは？
- ・自国に資源が無いという嘘がいつまでまかり通るか？
- ・言葉とグラフ等の説明だけでわかりにくい。大学の講演を聞いているみたい。
- ・慎重派の今後のエネルギーに対する考え方があいまいであると感じる。
- ・使用済みMOX燃料や高レベル廃棄物の行方が決まらない中で、プルサーマル計画を導入するのはいかがかと。高レベル放射性物質が長く残ることとなる。
- ・自然のエネルギーを利用したらよいと思う。太陽エネルギー等。原子力エネルギーは原子力そのものが目に見えない。事故がおきた時等人体に危険である。
- ・技術的に不確定な今日の状況に在る中、なぜプルサーマルを急ぐのか推進を主張する方からは伺えませんでした。実績があると云うがそれならその実績を実証する炉をつくって「これなら」と万人が認める検証をさせて急ぐのかわかりません。「実証炉」など必要ないというのであれば科学をないがしろにした「策」を感じてなりません。宮城県沖地震が高い確率で予想される中、なぜ女川なのか、地震との●●は眼中に入れなくともいいものなのか、心配が大きくなりました。(フォーラムで深められることを期待していたのに)
- ・①データの改ざんが3件もおきてるのか。なぜ。②住宅は安全面を重視するが経済面の事は電力会社でやればよい(※フォーラムがかみ合っていない)③増殖炉が仕分けでは見直しになりましたが、④有識者が2手にわかれるのに、無識者は動物的感に頼るだけ。
- ・プルサーマル専用炉で使えば良い。計画していなかった軽水炉で無理に使う事はない。軽水炉で4~5本併用する程度は→まだ確定されていない基準であり、試験段階を増やすべきでない。
- ・エネルギーを作り出す材料として必要である。事故は「こわい」ですが、技術開発で克服して欲しい。
- ・プルサーマルについては、何よりも安全第一でお願いしたい。
- ・再処理工場(六ヶ所)でたびたびトラブル起こしていますし、東海村、その他でも御座います。不安はないとは云われてませんが高レベル廃棄処分場が決まっていないのも不安です。
- ・伴氏の全部、内山氏の前半、マイクの音が低かった。
- ・知識があまり無いため、難しい内容に感じました。プルサーマル計画について勉強しようと思います。
- ・質問に出ていましたが、MOX使用は、使い始めたらどの程度続くものなのか。六ヶ所や高速炉が動き始めたときと動力してなかったらとで計画(みこみ)を知りたい。それほどにMOXを簡単に作れないから、続かないのでは？
- ・六ヶ所再処理工場は稼働するのか。再処理施設を完成させてからプルサーマルをしてもよいのではないかと...
- ・労働者被ばくが増えるのではないかと、とても心配です。
- ・原発やプルサーマルをやらせてくれというお願いのために内山先生の話があったと思いました。やはり、エネルギー問題を人質にとり、原発をやらないと社会が回らない、という理屈としました。
- ・講演者のマイクの音量が小さくて聞きにくかった。(途中から突然大きくなりびっくりした。)事前のチェックはちゃんとしておくべきです。
- ・地球環境の悪影響を残すプルサーマルは行うべきではない。
- ・今まで働くことだけで、気にしながらこれらのことについて不勉強でした。でも大切なことなので、勉強したいと思っています。少し、知識を得ないとさっぱり理解できない。
- ・言葉が聞き取りにくかった。
- ・マイクの為か、言葉が聞き取れなかった。もう少しハッキリと声で話して欲しかった。
- ・伴先生はエネルギー利用についてのウランの利用を否定されました。生活のみならず、産業構造をすべてかえることになります。現実的ではない。もしもという表現がかなり使われていましたが、もしも危惧される事態が検証されれば、それを排除していく技術確立し、次世代へのエネルギーの安全確保につとめてほしい。